

2019年 3学期 修了式 講話

20日の卒業式はとても素晴らしいものでした。105名の北っ子がこの二見北小学校を巣立っていきました。在校生の代表として参加した5年生の態度もとても立派でした。4月から、いや、今から二見北小学校の最上級生として、十分にその役割を果たしていけると思いました。

この1年間皆さんはそれぞれに目標を持って努力してきたことでしょう。サッカーがうまくなり、算数の九九を全部覚える、25メートル泳ぎ切る、声に出しての暗唱を100完全に制覇するなど、いろいろあったでしょうね。そして二見北小はあいさつ日本一、そうじ日本一、音読朗読日本一を目標にして取り組んできました。

今1年の終わりを迎えて、目標にどれだけ近付けたのか振り返ってみてください。それがまた次の1年の目標になっていくでしょう。目標を立てても、それに近づく努力をしなければ意味がありません。

昨日大リーグのイチロー選手が引退しました。数々の記録を打ち立てた彼ですが、10年連続200本安打の記録を達成した時に「自分はそれだけの努力をしてきた」と静かに話していました。

努力することは簡単なことではないですが、まずは目標の方にきっちり向くように自分を整えることが大切です。しっかりと目標の方を向いていなければ、歩き出しても少しも目標には近付きません。目標にしっかりと向き合うための、最も簡単で最も大切な方法を3つ教えてあげましょう。

1つ目は健康であることです。

気持ちよく目覚め、美味しく食べ、気持ちよく眠る。

2つ目は人と仲良くすることです。

お互いに相手を大切にし、笑顔を絶やさないこと。

3つ目はありがとう、ごめんなさいと言える心を持つことです。

感謝の気持ちと、反省できる素直な心を忘れない。

●これだけです。これを守っていくと、皆さんの周りにはいつも気持ちのいい人が集まり、気持ちのいい風が吹きます。そしてしっかり目標の方に体が向いているので、そのまままっすぐ歩けば目標に近づき、ついにはなりたい自分になっているでしょう。

では4月に一つ学年を進級し、たくましく、やさしく、かしこくなった北っ子に会うのを楽しみにしています。